



愛称「マナボー」

college news

# カレッジだより

2008 Mar.

vol. 13

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

道民カレッジ受講生数  
21,598人 (平成20年2月現在)

## 私の生涯学習 「縁と学びと出会い」

旭川市 飛谷 昭一



平成13年北海道老人大学旭川校に入学が許可されたのが73歳の春でした。入学して見ると60才代の若い方が多く、ついていけるかと不安でした。入学式後第一教時が『生涯学習について』なぜ学ぶのか？(学ぶことにより新しい自分の発見が)など、最後に国際成人教育会議(学習権宣言)にふれられ、学習権無くしては人間的発達はありません『今日が一番若い日なんだ』と結ばれました。

この講座の谷口先生は昭和51年新設小学校の開校準備をされた教頭先生で、私もPTA会長として環境整備など奉仕活動を共にした方でした。

私の道民カレッジ入学は平成13年10月、老人大学で『長寿社会の今後』のお話の折り、手帳を交付していただきましたが、14年2月スクーリングを受けたのみでした。老人大学の級友の誘いで受講した『あさひかわ学』は旭川大学での連携講座でしたし、以後、講座開催の都度案内をいただけるようになりました。この旭川大学の学長さん山内教授は30年程前2、30人位で勉強会を開いていた旭川市民大学の講師の一人でした。

この旭川大学では夏期講座・土曜講座AEL(アエル)等、特に、「論・旭山動物園」「続論・旭山動物園」は観光客誘致に貢献、全国に旭山動物園が有名になるきっかけになった「ほっかいどう学」講座です。

道民カレッジのガイドブックの発行を手にしてからは地方へ足を延ばす機会も多くなり、美唄の林業指導所・国立大雪青年の家・音江道立青年の家・日高や足寄等へと宿泊研修の参加が多くなり、「又会いましたね」などと顔なじみの会話や、会える楽しみとともに意欲も増し、仲間同士の交流も増えました。

札幌近郊の方々ほどではありませんが、旭川でも、特に教育大の長期学びとでも言うか「ほっかいどう学」でアイヌのことやまた北海道の各地の産業と物産など、学校では学ぶことのできなかつたことの多くに新鮮さを感じた。毎回熱心に通ってくる人との多くの出会い、今までこの連携講座が多くなり選択するのに迷うくらいです。また、旭川医大での前期・後期講座や旭川市のオープンカレッジ「あさひかわ学」は毎年開催され、他の地方の方よりは恵まれているでしょう。

『生涯学習』は、戦後、ユネスコ(国連の教育・科学・文化機構)での「成人教育」の提唱で、各国名称は異なりわが国でも「生涯学習」になるまでには変遷があったことも学びましたし、ユネスコの事務局当時、開発途上国での「寺子屋」教育等の募金活動を思うと、高齢者になっても夢と希望を持ち続けられる幸せを有難く感じております。

入学から6年がたち、上川圏シニアリーダー倶楽部員や道民カレッジボランティアとしてお手伝いさせて頂きながら、多くの先生方の指導と熱意にさそわれて受講を続けられたとの喜びも感じております。また、新たに仲間になられた方からは「誘い合って講座に参加できる」と喜ばれておりますし、情報交換も大事な事だとも思います。

この度、学長奨励賞を戴きましたが、仲間同士の励ましあいと同時に、競う気持ちもあったようにも感じますが、多くの仲間作りと同時に、これからも各級機関に道民カレッジと講座の連携をお願いしながら「きららかに、楽しみながら、自分を高められる」よう学び続けていきたいと思っております。

## 道民カレッジの現状

(平成20年2月現在)

道民が、いつでも、どこでも、学びたい時に学ぶことができる「道民カレッジ」は、今年で9年目を迎えました。ここで道民カレッジの現在の状況をお知らせします。

○学 生 数 21,598名

◎管内別学生数

管 内	石 狩	渡 島	檜 山	後 志	空 知	上 川	留 萌
受 講 生	7,765	1,002	1,004	1,289	958	2,726	712
管 内	宗 谷	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室
受 講 生	625	1,425	651	1,102	581	988	770

◎称号取得者

学 士	修 士	博 士
238	138	98

\*2月現在学長奨励賞 14人

## 全道6圏域12会場で実施された

# 主催事業「ほっかいどう学」出前講座

6月30日の富良野市における開催を皮切りに全道12会場で実施された出前講座は、各地域の特色を活かし、地域づくり、人づくりをテーマに活発に展開されました。

以下は、各会場の実施状況です。

(敬称略)

市町村	テーマ（地域課題）	実施日	派遣講師	参加者
富良野市	地域の子供は地域で育てる ～青少年のための地域教育力向上に向けて～	6月30日	コミュニケーションナビゲーター 姉帯美和子 富良野運輸 本田 邦光 扇山小学校PTA会長 阿部 栄治 青少年サークル 鶴井 美穂	40人
礼文町	新しい公共の視点に立った地域づくりについて ～住民と行政の協働による新しいふるさとづくり～	7月25日	北星学園大学社会福祉学部 講師 河野 和枝	25人
夕張市	美しい環境づくりを目指して	9月28日	樹木医 鮫島 宗俊	60人
占冠村	地域資源を活用したまちづくり ～幸せの多様性～	11月 8日	坂本ビル(株)代表取締役 坂本 和昭 スローフード・フレンド事務局 事務局長 山本 敬介 指導者 高橋 勝美	60人
厚岸町	厚岸の自然環境とまちづくり	11月18日	北海道大学 准教授 長尾 誠也 提言者 北海道大学名誉教授 向井 宏 森づくりセンター 近 孝夫 ウェットランドセンター 新庄 久志	75人
中標津町	自然との共存 ～「知床」世界遺産への歩み～	11月29日	(財)知床財団 普及事業係 坂部 皆子	51人
帯広市	地域の価値、再発見 ～帯広、十勝の未来をデザインしてみませんか～	1月20日	札幌国際大学 准教授 吉岡 宏高	43人
鹿部町	食育を通じた地域づくり	1月31日	トータルフードコーディネーター 高井 瑞枝	23人
鹿追町	「しかおい学・カナダ学と鹿追町のまちづくり」 ～子ども達と大人が創る未来の鹿追町～	2月 2日	北海道大学 教授 町井 輝久 講師 マーク・ファミリトン	61人
真狩村	基幹産業に基づく食文化の振興について ～真狩中学校・真狩高校・他町村等の取り組みに学ぶ～	2月20日	ニセコ農産物加工研究会 副会長 松田 裕子 赤井川村おつけもの食堂 店長 新見 愛子	70人
北見市	災害時における自治会・NPOの役割	2月21日	北海道教育大学 准教授 佐々木貴子 発表者 嵐 慎一	40人
白老町	虎杖浜温泉の活性化を考える	2月22日	札幌国際大学 教授 松田 忠徳	60人

## 称号取得者等「学習成果活用セミナーⅦ」を開催

平成16年度に第1回セミナーを開催して以来、今回で7回目となるセミナーは2月12日（火）に開催されました。開催の趣旨は、「これまで学習してきた成果を今後道民カレッジ称号取得者及びモニターとしてどのようにして生かすかを実践的に研修する」ことで実施されました。今回のセミナーの特色は、前回のセミナーⅥにおいて参加者自らが計画した自主講座を実際に実施することにあります。

自主講座の内容～各方面の名人に話を聞く～

- (1) 話題提供 ①北海道開拓の村ボランティアの会会長 岩本 好弘氏  
②(株)輝楽里取締役部長・北海道農業士 富永 政博氏
- (2) ワークショップ「自主講座を振り返って」(話し合い)

以上のことについて、担当するグループは企画立案について事前に5回話し合いを持つなど主体的積極的に取り組みがなされ他グループより評価を受けました。

当日は、札幌市、江別市、北見市、滝川市、苫小牧市、千歳市、北広島市、由仁町から40人の参加がありました。最後は、「これからのボランティア」と題して、(財)北海道開拓の村事業課主査中嶋宏一氏が講義し、セミナーを終了しました。

今後の方向性として、「道民カレッジ」を培った学習の成果を生かし、道民カレッジ事業の推進者として、地域活動の推進者として、ボランティア活動の主体者としての資質をさらに高めていくことが大切であると考えます。



自主講座について話し合う



自主講座を運営するグループ



「これからのボランティア」講演の様子

## 道民カレッジ キャッチフレーズ・ロゴマーク決まる！

学ぶ意欲のある道民を対象にして、多様な学習機会を提供している道民カレッジは、現在2万人を超える道民が学習に取り組んでいますが、更に親しみやすく身近な道民カレッジにするために、キャッチフレーズ・ロゴマークを募集しましたところ下記のように決定しました。これらの作品は、今後道民カレッジに関わる事業などに用いられることになります。

また、残念ながら選にはずれた方々には今後も引き続きカレッジへの温かい支援をお願いします。

- 1 応募期間 平成19年8月20日～平成20年1月18日
- 2 応募状況 ①キャッチフレーズの部～応募者 14人  
応募点数 52点  
②ロゴマークの部～応募者 17人  
応募点数 19点

採用作品 ①キャッチフレーズの部～ 林 芳男氏 (札幌市在住)  
「学びから 夢が生まれる 道民カレッジ」

②ロゴマークの部～ 佐々木 麗氏 (北翔大学 2年)



愛称「マナーボー」

### ●作品解説

「道民にとって親しみやすく身近な道民カレッジにする」という理想をポイントに作りました。

北海道の地形をモチーフに、キャラクター的なシンボルを作ることによって親しみやすさを感じられるようにしました。

【学長奨励賞】 14名中

山吹 英男 (音更町) 関口 義幸 (江別市) 平石 修 (札幌市)  
松田 仁明 (釧路町)

新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成19年11月22日～平成20年3月14日)  
(敬称略)

【道民カレッジ博士】 100名中

榎本 聰子 (札幌市) 豊田カヨ子 (札幌市) 横井志以子 (北広島市)  
伊藤金五郎 (札幌市) 佐藤 一雄 (江別市) 関口 義幸 (江別市)  
高橋 松雄 (江別市) 坂本 繁光 (音更町) 田村 恒夫 (釧路町)  
松田 仁明 (釧路町) 大西 光一 (帯広市) 飛谷 昭一 (旭川市)  
郷司 明夫 (江別市) 榎本 聰子 (札幌市) 鈴木 久美 (札幌市)  
佐々木伸枝 (帯広市)

【道民カレッジ修士】 139名中

松村 繁男 (札幌市) 高橋 保昭 (江別市) 中嶋 深幸 (札幌市)  
村上 秀雄 (標茶町) 佐藤 一雄 (江別市) 落合 俊忠 (札幌市)  
犬養 希佑 (札幌市) 平石 修 (札幌市) 坂本 繁光 (音更町)  
田村 恒夫 (釧路町) 宮口 義雄 (鹿部町) 榎本 聰子 (札幌市)  
紺野 秀子 (帯広市) 秋江 慶子 (帯広市) 大西 光一 (帯広市)  
佐々木伸枝 (帯広市) 石川 弥一 (札幌市) 豊田カヨ子 (札幌市)  
佐藤 文彦 (帯広市) 上田 純一 (美幌町) 三浦 義松 (札幌市)

【道民カレッジ学士】 242名中

山吹 英男 (音更町) 榎本 聰子 (札幌市) 大谷 弘知 (札幌市)  
塚越 孝義 (札幌市) 佐藤 一雄 (江別市) 松島 恵子 (恵庭市)  
三浦 清富 (北見市) 小敷澤幸子 (北広島市) 桜田 行敏 (札幌市)  
平石 修 (札幌市) 高橋 松雄 (江別市) 金田 英男 (帯広市)  
亀井 清隆 (札幌市) 舘田 幸子 (札幌市) 三木 航一 (札幌市)  
林 芳男 (札幌市) 吉谷 健一 (音更町) 橋詰 正和 (札幌市)  
三浦アイ子 (札幌市) 後藤 亮一 (札幌市) 深畑千恵子 (札幌市)  
石川 弥一 (札幌市) 佐々尾雅志 (札幌市) 笹塚 篤 (札幌市)  
今野 武藏 (美瑛町) 占部 一誠 (苫小牧市) 佐藤 寛 (恵庭市)  
永原 清 (札幌市) 木村 信敏 (札幌市) 坂本 曠光 (北見市)

写真で見る1年間 (主催事業及び関連事業)



出前講座 (夕張市)



出前講座 (鹿追町)



十勝圏ボランティアの研修



本部ボランティアの研修



実践講座発表風景



かでの講座



かでの講座



学習成果活用セミナー

カレッジだより Vol.13

平成20年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局  
財団法人 北海道生涯学習協会  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階  
TEL (011) 231-4111(内線36-343) FAX(011) 231-6664  
URL <http://www.hsgk.jp/college/> Eメール [college@hsgk.jp](mailto:college@hsgk.jp)

